



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第17回例会(11月15日)
令和元年11月22日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～
<http://www.morioka-rc.jp/>

会長 西島光茂
幹事 勝雅行
会報 金沢 滋
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ...マーク・ダニエル・マローニー
盛岡RC会長テーマ 一令和元年:世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋ぎましょう-西島光茂



ゲスト卓話

魅力的な場づくりを核とした盛岡市の都市戦略

盛岡市 都市整備部長

高濱 康亘 様

●スピーカー紹介●

高濱康亘・盛岡市都市整備部長は、昭和62年生まれの32歳。東京大学大学院在学中は景観研究室に在籍。国土交通省に入庁後、配属された北上川下流河川事務所東日本大震災により被災した河川堤防の改修に際し景観に配慮する事業に携わりました。その上流の盛岡市に赴任するやいなや、軽いフットワークで盛岡市内のさまざまな会合に顔を出し、これまでにない*部長像。を醸す、若きメッセンジャーです。

1. 都市機能を維持するためには

本日はお招きいただきありがとうございます。
まず、都市をとりまく現状についてです。現在日本は人口減少下にあり、盛岡市について見ても、2000年をピークとして、すでに人口は減少し、現在はだいたい1990年ごろと同じ水準であると読み取れます。一方で、市街地の状況については、市街化の目安となるDID（人口集中地区）の面積は、人口が減っていても減ってはならず、むしろ増えています。人口が減っているのにDID面積が増えているとは、密度が下がってきているということです。人口が減り市街地も拡散していくと、人口密度はどんどんと下がり、結果として、都市機能が維持できないということになります。これに対し、居住を誘導していくエリアや、生活サービスを集めていくエリアを定め、そのエリアについて人口密度を維持し、都市機能が集積したにぎわいある街、言い換えれば、経済的に自立した街をつくっていく。これが、「コンパクト・プラス・ネットワーク」という考え方です。人口が減るのが問題ではなく、人口は減っていくので、それに

対して適切な密度を維持できるかが問題だということに理解すべきでしょう。

少しだけデータで見えていくと、例えばコンビニの商圈はだいたい人口密度が40人/haのエリアだそうです。密度が高まれば民間施設が立地しますが、逆にいうと、密度が維持できないとコンビニも撤退するということです。別のデータでは、人口密度が高いほど、小売業の販売額が高いという相関もあります。密度高い市街地は儲かる、ということです。こういった都市を目指すために、都市の中に複数の核を設定し、それぞれの特色や魅力を公共交通などのネットワークでつないでいくことで密度を維持していくというものです。

2. 公園の魅力が都市の競争力に直結

市街地の密度を高めていく際に、必ず起こるのが「都市のスポンジ化」です。密度を高めるには土地を有効に活用する必要がありますが、実情として、空き地や空き家、利用率の低い駐車場などが土地活用の妨げになることが多くあります。空き地・空き家が時間的・空間的にランダムに発生

する現象を最近では「都市のスポンジ化」と呼んでおり、コンパクトな市街地形成に向けて解決しなければならない課題です。

そのスポンジの穴をどのように埋めていくか、という話とも関連しますが、密度を高めていくにあたっては、住みたい街、住んで楽しい街として、選ばれる街になる必要があると思っています。そのために、魅力的な場づくりが必要であると考えています。特に、誰もがアクセスできる公共空間は重要な要素だと考えていて、魅力的な街路や公園は都市の競争力に直結するものだと捉えています。

ここで、公園の活用については、平成29年に法律改正がありました。法改正の背景としては、緑とオープンスペースの基本的な方針を量から質へ転換させるといったことがあります。都市公園を一層柔軟に使いこなす観点などから、公募設置管理制度（通称：Park-PFI）を創設しました。園路や広場などの公園施設を民間負担で整備・管理し、その費用を捻出する収益施設の設置期間を20年間まで延長したり、建蔽率を緩和できたり、といったものです。民間主体の創意工夫で特色ある公園づくりの加速が期待できる制度改正です。

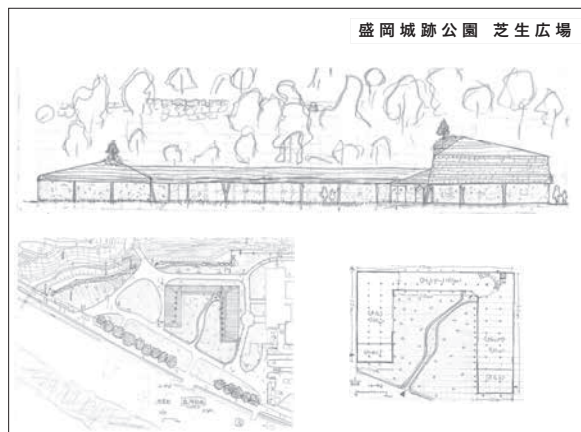
3. 盛岡市内のPark-PFI

盛岡においても、公民連携による都市整備を進めています。9月にオープンした「木伏緑地」では、Park-PFIを活用しリニューアルをしました。幅広い年齢層の方に来園いただいております。データを見ても歩行者量が大きく増加し、新たなにぎわいの拠点ができたと考えています。盛岡市は若者世代の流出や、都市公園の管理といった課題を抱

えており、これらの課題解決の糸口にもなると期待しています。その他、Park-PFIとして、中央公園への保育施設などの整備、盛岡城跡公園芝生広場へのカフェやギャラリーなどの整備を行っています。特に、城跡公園は史跡としての価値と公園としての価値の双方を高めるものとなるよう、広く市民の方々のご意見を伺いながら進める方針です。



まとめとして、人口減少下でも、持続可能な都市を目指すには、密度の維持が重要であり、密度の維持を目指すには、都市のスポンジ化対策と、魅力的な場づくりが重要であると考えています。魅力的な場づくりの一手法として、盛岡市では、民間主体の創意工夫・リスクテイク（危険承認）による公民連携事業を実践しており、盛岡の魅力一層高まるよう、努めて参りたいと考えております。



ゴルフ練習会

10月6日安比高原ゴルフクラブで、盛岡RCゴルフ練習会が開催されました。曇天にも拘らず15名の参加者でした。

誰にでも優勝の可能性があるという「新々ペリア方式」での練習会でしたが、優勝したのは佐々

木憲明会員、2位の中村芳樹会員、3位の晴山和泰会員までがトータル80台で、やはり実力通りの上位3名でした。次回は打倒3強を目指して頑張しましょう。

会報委員 吉江 信博



例会報告

第17回例会 令和元年11月15日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 西島光茂会長
- ・ロータリーソング
(われらの生業)
- ・ゲスト 高濱康亘様
(盛岡市 都市整備部長)
- ・会長報告 西島光茂会長
- ・入会祝 佐藤仁志君
- ・誕生祝 坂本広行・中村芳樹君
- ・幹事報告 大平騰一副幹事
- ・委員会報告

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡南R.C.=
12月 3 日(火) 1 日(日)第一分区 I M
に振替
12月17日(火)クリスマス家族会の
ため18:30~時間変更
12月24日(火)休会

【ニコニコBOX】

- ◆西島光茂君…①11月9日(土)に行われたロータリー・リーダーシップ研究会:仙台市に出席しました。3回行われる研修会で、2回連続の出席でした。
Rotary Leadership Institute

(RLI) と呼ばれるもので、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指すカリキュラムです。

36人限定のプログラムで、1回目は12/36、2回目は8/34が岩手県でした。開催場所の問題もありますが、宮城のクラブでは入会二ヶ月や2年という、入会間もない会員の参加が多く見られ、副幹事の方はかなり多く、積極的に利用しています。Early Exposureも大切だと思いました。私は会長になってから、この研修会の存在を知ったのですが、来年度からは、新しいリーダー育成の観点からも参加を検討すべきだと思います。

②来週はロータリー財団地区補助金を利用して

- ・プロジェクト名: ラオス中規模病院への医療器具支援プロジェクト
- ・実施場所: ラオス人民共和国ビエンチャン県カーシ郡病院
- ・内容: 日常必要不可欠な医療器具の支援

を勝雅行幹事、岡村弥国際奉仕委員長と西島光茂の3人で実施してまいります。盛岡ロータリークラブの物神両面の支援に感謝しております。

- ◆藤村文昭君…盛岡ロータリークラブ歴史上、初めての海外ラオスプロジェクトの大成功をご祈念申し上げます。

プロジェクトをここまで推進してきた西島会長に心より敬意を表しますと共に、西島会長、勝幹事、岡村委員長皆様の無事のご帰国をお祈りいたします。

- ◆金沢滋君…あちこちで市と市民とをむすぶ活動をしている若きメッセンジャー、高濱部長さんを卓話に呼ぶことができ、ニコニコしています。

- ◆小川 惇君…先週の例会が終り、帰りのエスカレーターに乗った時のことである。

私の前に長野先生がコートを着ながら下りていくのを見て、自分のコートを例会場に忘れてきたことに気が付いた。

戻らなければならないと思っていたうちに6階に降りたが、先生がまだモゾモゾしていて「どうもコートを間違えたらしい」と言われた。

小さめで体に合わないようだ。何気なくコートを見ると、なんとそれは私のコートではないか。

これは忘れたコートを持って来ていただいたようなものだ。こんな都合の良いことはないとその場で返していただき、私は戻る必要がなくなり、先生が戻る羽目になった。コートを着なければならぬ季節が急にやってきたための出来事である。

長野先生ありがとうございました。

出席報告

会員数/76名

出席数/46名

出席率/63.01%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・11月22日(金) ゲスト卓話 菊池完之様(株)日本ホームスパン代表取締役「ホームスパンの歴史」
- 29日(金) 新入会員卓話 上野好章会員
- ・12月6日(金) ゲスト卓話 赤坂環様(ミニコミ誌「てくり」編集者)
- 13日(金) 年次総会
- 20日(金) 年忘れ家族会
- 27日(金) 年末休会

●本号編集担当/西館 政美